

# 新「ごみ処理施設だより」

第6号(平成29年6月23日発行)

埼玉中部資源循環組合



平成29年度・30年度の2年間で実施

大気、騒音、水質、動植物などを中心に現地調査

前号でお知らせした「(仮称)埼玉中部資源循環センター整備事業環境影響評価調査計画書」や知事意見を基に、環境影響評価の「調査・予測・評価」が始まります。

環境にどのような影響を及ぼすのか

調査・予測・評価を行います

開発事業による環境影響を防止するためには、事業の内容を決めるに当たって、事業の必要性や

採算性だけでなく、環境保全についてもあらかじめよく考えていくことが重要となります。このようなかえ方から生まれたのが、環境アセスメント(環境影響評価)制度です。環境アセスメントは、開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのように影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して一般の方々などから意見を聴き、

管理者あいさつ

埼玉中部資源循環組合管理者 吉見町長 宮崎善雄



さる5月9日の埼玉中部資源循環組合正副管理者会議におきまして、組合管理者に就任いたしました吉見町長の宮崎善雄でございます。

か所のごみ焼却場は、いずれも老朽化が進み、早急に新しい施設を整備する必要があります。「天然資源の消費を抑え環境への負荷をできる限り低減する循環型社会の構築」が求められる中で、構成市町村のごみを、将来にわたって、安全に、安定して、確実に処理し、住民の皆様の衛生環境を守ることは、行政の大切な役割であり、新しいごみ処理施設を整備することは、たいへん重要な事業でございます。

引き続き、より幅広い世代の声に耳を傾け、地域の皆様としっかりと対話を重ねてまいります。組合事業に対する御理解と御協力をお願い申し上げます。

## 【環境影響評価調査工程表】

	平成29年度												平成30年度				備考 使用機材	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			
現地調査																		
地上気象																		風向・風速計など
一般環境大気質・上層気象																		測定小屋など
道路沿道大気質																		観測小屋など
騒音・低周波音																		騒音計など
道路沿道騒音・交通量																		騒音計など
振動																		振動計など
道路沿道振動																		振動計など
悪臭																		空気捕集装置など
水質・流量など																		流量計、採取装置など
地下水位																		水位計
土壌汚染																		スコップなど
地盤																		ボーリング機械など
動物・生態系																		
哺乳類																		トラップなど
鳥類																		双眼鏡など
は虫類																		特になし
両生類																		特になし
昆虫類																		虫取り網など
水生生物(魚類・底生生物)																		投網など
植物																		特になし
景観																		カメラ
自然との触れあいの場																		カメラ
日照障害																		巻き尺など
電波障害																		電波測定車など

それらを踏まえて環境の保全の観点からより良い事業計画を作り上げていこうという制度です。「環境影響評価情報支援ネットワーク『環境アセスメントガイド』より抜粋」

**地上気象、動物・生態系などの周辺環境をくわしく調査します**

前号でお知らせしましたが、「(仮称)埼玉中部資源循環センター整備事業環境影響評価調査計画書」は、環境に関する調査項目について、どのような方法で環境アセスメントを実施していくのか

をまとめたものでした。この手続きに続くのが調査・予測・評価という作業です。今年度から来年度前半に行う調査は、その後の予測・評価をするために必要な地域の環境情報を収集するためのもので、既存の資料を集めて整理したり、実際に現地で測定や観察をして調査します。今月から、地上気象や地下水位、地盤、動物・生態系の調査が始まります。詳しい調査項目やスケジュールは、左上の環境影響評価調査工程表のとおりです。

## 【環境影響評価の調査・予測・評価】

**調査** 予測・評価をするために必要な地域の環境情報を収集するための調査を行います。

(調査の方法)  
・既存の資料などを集めて整理する方法  
・実際に現地に行って、測定や観察をする方法

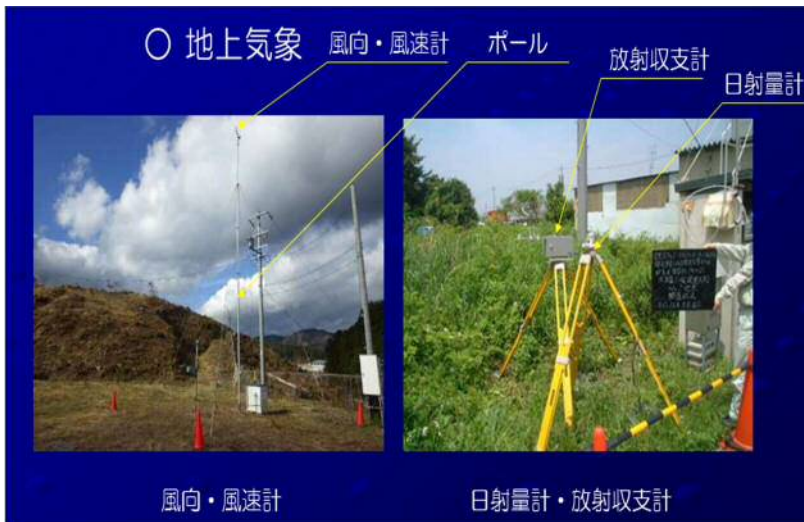
**予測** 事業を実施した結果、環境がどのように変化するかを予測します。

(予測の方法)  
・コンピュータなどで各種の予測式に基づいて計算する方法  
・景観などではモニター・写真の作成等の方法

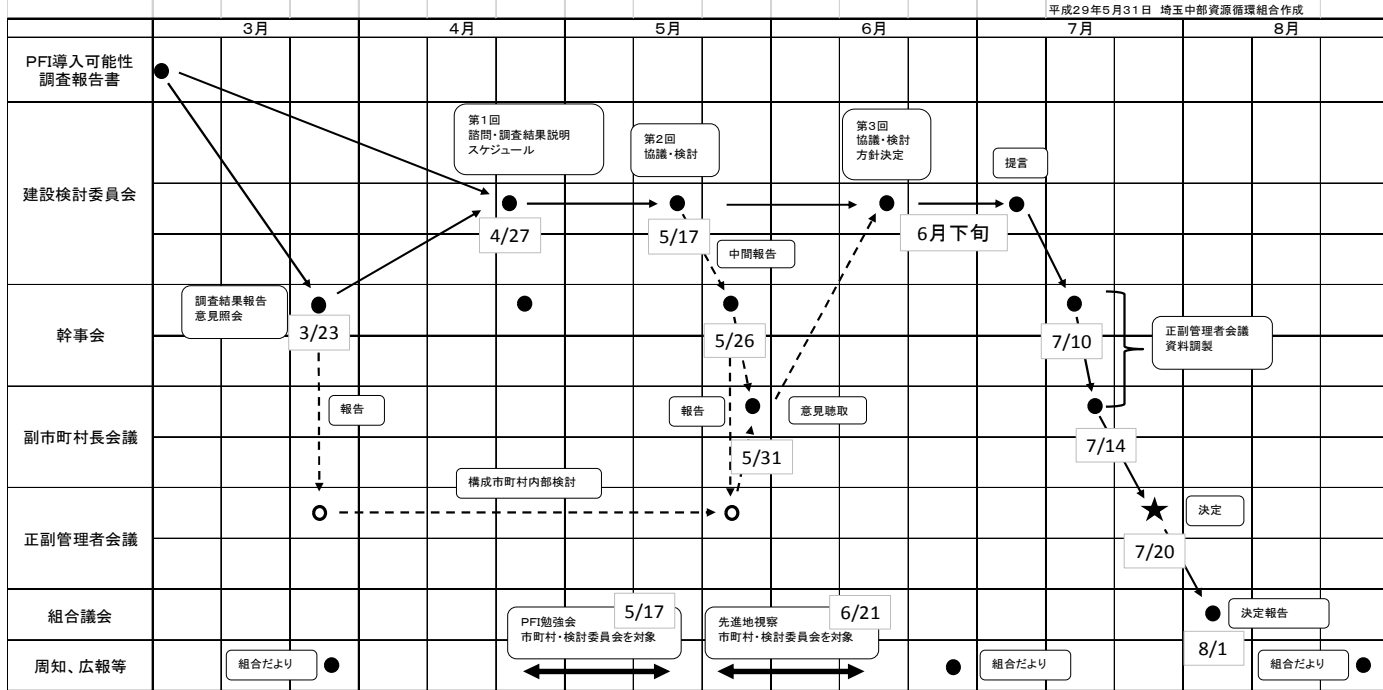
**評価** 事業を行った場合の環境への影響について検討します。

(評価の内容)  
・実行可能な最大限の対策がとられているか。  
・環境保全に関する基準、目標等を達成しているか。

## 【気象の状況 現地調査の例】



【事業方式決定までのスケジュール】



6月下旬の建設検討委員会で  
事業方式についての提言がまとまります

平成29年5月17日（水）、吉見町福祉会館会議室で第2回建設検討委員会を開催しました。会議では、事業方式についてを検討し、現段階での方向性をまとめました。また、新しく吉見町議会選出の内野正美議員が、委員長に選任されました。

組合では、新ごみ処理施設の整備に向けた計画づくりを進めています。一方、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」では、民間の資金や経営能力を活用することにより、公共施設を効率的かつ効果的に整備することが求められています。

そこで、組合では、PFI導入可能性調査を実施し、組合が進める事業に導入可能な事業方式や導入に当たっての課題を整理しました。

新ごみ処理施設の事業方式は

7月の正副管理者会議で決定

平成29年4月27日（木）、組合管理者から建設検討委員会に対して、新ごみ処理施設整備に係る事業方式について、「事業の推進に当たっては、PFI導入可能性調査結果を踏まえて、組合に最も適した事業方式の決定を行う必要があることから、建設検討委員会において検討いただきたい」との諮問書を提出いたしました。

この諮問を受けた建設検討委員会では、事業方式に関する検討を開始しました。また、5月17日（水）には、PFI事業に関する勉強会を開催しました。勉強会では、事業の仕組みや手続きの流れ、廃棄物処理施設における導入状況、先行事例などについて、構成市町村の担当者等も含めて勉強しました。

勉強会後に開催した建設検討委員会では、現段階の方向性を、「PFI導入可能性調査報告書及びPFI勉強会を踏まえて協議した結果、DBO（公設民営方式）にて新ごみ処理施設を整備することが望ましい」とまとめました。

今後は、構成市町村の意見聴取等を経て提言書としてまとめます。事業方式は、7月20日（木）に開催する正副管理者会議で決定する予定です。

入札結果の公表

(単位:円)

事業名	環境影響評価業務委託		
場所	埼玉県比企郡吉見町大字大串字中山在2797-1他		
入札日	平成29年 5月19日	契約金額(税込)	55,080,000
設計金額(税抜)	180,729,000	予定価格(税抜)	180,729,000
最低制限価格(税抜)	—	調査基準価格(税抜)	—
業者名	第1回(税抜)	第2回(税抜)	備考
株式会社エイト日本技術開発 北関東支店	69,800,000		
株式会社建設技術研究所 関東事務所	63,720,000		
国際航業株式会社 埼玉支店	82,900,000		
玉野総合コンサルタント株式会社 埼玉事務所	75,770,000		
中日本建設コンサルタント株式会社 北関東事務所	51,000,000		落札
株式会社日建技術コンサルタント 埼玉事務所	69,000,000		
株式会社日本環境工学設計事務所 埼玉事務所	55,000,000		
日本工営株式会社 北関東事務所	辞退		
パシフィックコンサルタンツ株式会社 埼玉事務所	92,970,000		
八千代エンジニアリング株式会社 関東センター	98,900,000		

平成29年第2回組合議会定例会のお知らせ

- 日時 平成29年8月10日(木)
- 午前10時開会
- 場所 吉見町役場4階議場

組合予算の執行状況をお知らせいたします

(1) 平成28年度一般会計歳入歳出予算の執行状況(平成29年3月31日現在)

歳入

	予算現額(円)	収入済額(円)	収入済額/予算現額(%)
1 分担金及び負担金	289,911,000	289,911,000	100.00
2 国庫支出金	42,535,000	11,977,000	28.16
3 財産収入	2,000	0	0.00
4 繰越金	83,576,000	83,576,249	100.00
5 諸収入	3,000	47,109	1,570.30
合計	416,027,000	385,511,358	92.66

歳出

	予算現額(円)	支出済額(円)	支出済額/予算現額(%)
1 議会費	5,486,000	4,589,858	83.66
2 総務費	159,472,000	149,846,637	93.96
3 事業費	246,022,000	174,940,535	71.11
4 予備費	5,047,000	0	0.00
合計	416,027,000	329,377,030	79.17

(2) 財産、公債及び一時借入金の現在高

区分	現在高(円)
財政調整基金	111,628,000
施設整備基金	100,000,000
合計	211,628,000

(3) その他管理者において必要と認める事項  
なし

組合の詳しい情報はホームページでもご覧いただくことができます。

<http://www.town.yoshimi.saitama.jp/chuukouclean/index.html>

